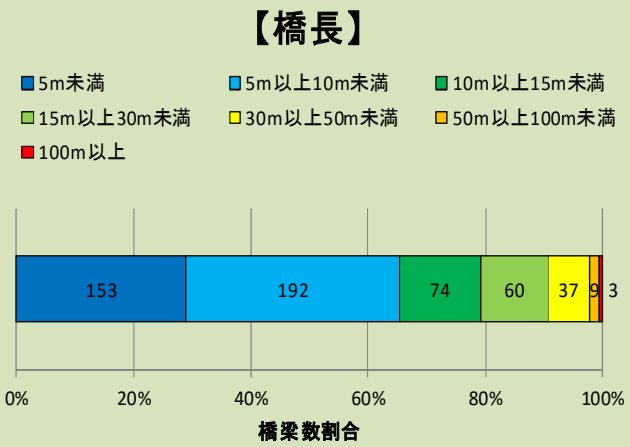
宇陀市橋梁長寿命化計画

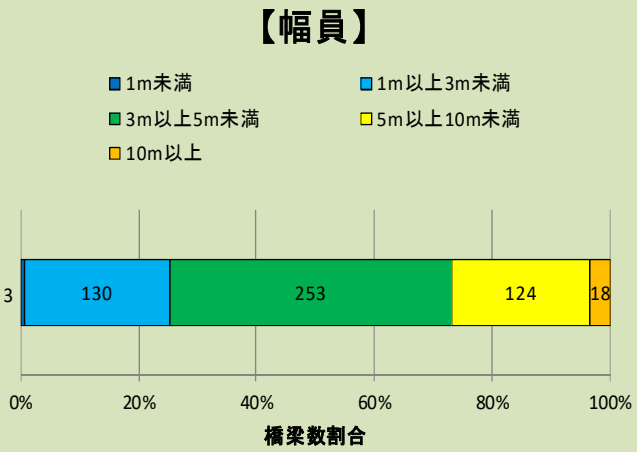
■　目的

本計画は、橋梁を適正に維持管理することにより、橋梁が果たしている道路交通サービスを今後も継続的に市民に提供するために作成したものです。

■　橋梁の特徴

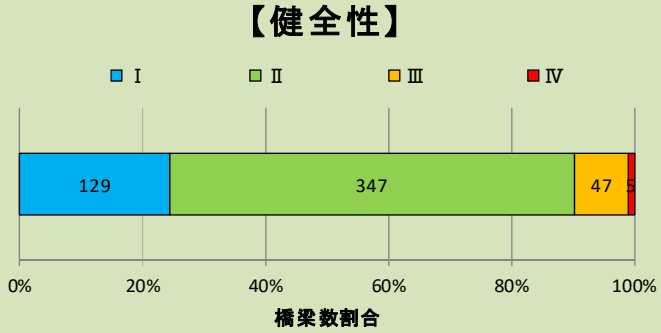
- 本市の橋梁は、比較的規模の小さな橋梁が大半を占めています。
- 本市では、平成30(2018)年度にすべての管理橋梁の定期点検と健全性診断が完了しました。





■　橋梁の状態

- 本市の橋梁は、健全性Ⅰと健全性Ⅱが全体の約90%を占めています。
- 一方、早期に措置すべき健全性Ⅲが約9%あり、緊急に措置を講ずべき健全性Ⅳも約1%あります。



健全性		状態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

■ 対策の優先順位

- 本計画では、定期点検にて健全性Ⅲと診断された47橋を対策の対象とします。
- 対策は、橋梁の重要性と対策の緊急性から優先順位を評価します。

【優先順位の評価】

項目		分類	評価
重要性		1(高)～4(低)	重要度が高い橋梁を優先。
緊急性	前回点検からの経過年数	1年～5年	経過年数が長い橋梁を優先。
	上部構造の材質	1(鋼・PC) 2(RC)	上部構造が鋼又はPCをRCより優先。

【重要性】 ※1(高)⇒4(低)

項目		重要性
当該道路橋の緊急輸送道別		1
道路橋下状況(跨いでいるもの)	緊急輸送道路の有無	1
	道路橋下の管理者	2
	鉄道	1
緊急輸送道路		1
重要物流道路		2
地域防災計画		2
通学路指定		2
バス路線(コミュニティバス等含む)		2
迂回路の有無(大型車)		1
地元要望		1
上記以外		4

■ 対策の実施期間

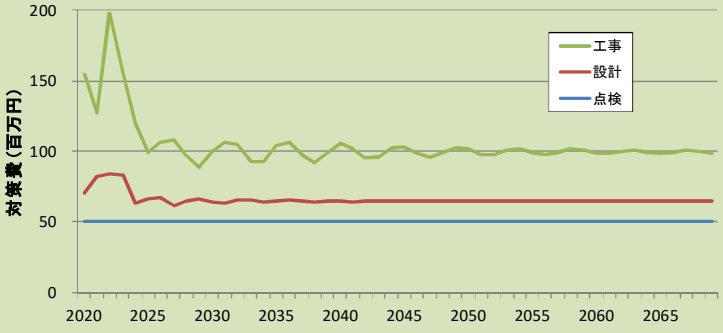
- 本計画では、本市の予算や体制を考慮し、2つの対策期間を設定しました。

【パターン1】	令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5年間に対策を完了。
【パターン2】	令和2(2020)年度から令和11(2029)年度までの10年間に対策を完了。

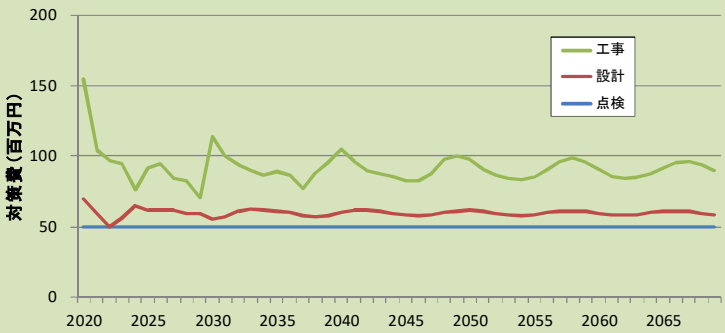
■ 長期コスト見通し

- 過去5年の実績と今後10年間の実施計画から今後50年間の長期コストを見通しました。
- 橋梁の対策設計、対策工事、定期点検に要する費用は、概ね年間1億円から2億円と見通されました。
- 本計画に従って必要な措置を講じることにより、橋梁の安全・安心の確保に努めます。

長期コスト見通し(事業費)【パターン1】



長期コスト見通し(事業費)【パターン2】



■ 意見聴取した学識経験者

大阪市立大学　古田　均　特任教授

【問い合わせ先】
宇陀市　建設部　建設課
宇陀市榛原下井足17番地の3　TEL:0745-82-5638　FAX:0745-82-8211